



## 2022年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年11月10日

上場会社名 株式会社ビジョン 上場取引所 東  
 コード番号 9416 URL <https://www.vision-net.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長兼CEO (氏名) 佐野 健一  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理本部長兼CFO (氏名) 中本 新一 (TEL) 03-5325-0344

四半期報告書提出予定日 2022年11月11日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2022年12月期第3四半期の連結業績(2022年1月1日~2022年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年12月期第3四半期	18,478	38.0	1,949	92.4	1,954	87.5	1,270	81.0
2021年12月期第3四半期	13,392	2.2	1,013	—	1,042	521.0	702	—

(注) 包括利益 2022年12月期第3四半期 1,366百万円( 87.5%) 2021年12月期第3四半期 728百万円( —%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年12月期第3四半期	26.29	25.88
2021年12月期第3四半期	14.91	14.50

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年12月期第3四半期	17,194	11,762	68.3
2021年12月期	14,932	10,122	67.7

(参考) 自己資本 2022年12月期第3四半期 11,745百万円 2021年12月期 10,113百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2022年12月期	—	0.00	—	—	—
2022年12月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2022年12月期の連結業績予想(2022年1月1日~2022年12月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	24,556	35.7	2,318	109.8	2,324	103.2	1,525	109.3	31.23

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

詳細は、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年12月期3Q	50,364,300株	2021年12月期	49,091,100株
② 期末自己株式数	2022年12月期3Q	1,501,642株	2021年12月期	1,501,590株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年12月期3Q	48,319,316株	2021年12月期3Q	47,090,561株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等は、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における日本経済は、コロナ禍における経済活動の制限が段階的に緩和され、景気が緩やかに持ち直しております。

ただし、世界的な金融引き締め等が続く中、海外景気の下振れが景気の下押しリスクとなっており、物価上昇、供給面での制約、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要があります。

このような経済環境の中、当社グループは主力事業であるグローバルW i F i 事業、情報通信サービス事業に注力し、社会のニーズに柔軟に対応すべく努めてまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間における売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益は、いずれも前年同期実績を上回っております。

	当第3四半期 連結累計期間 (百万円)	前年同期実績 (百万円)	増減 (百万円)	増減率 (%)
売上高	18,478	13,392	5,085	38.0
営業利益	1,949	1,013	936	92.4
経常利益	1,954	1,042	912	87.5
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,270	702	568	81.0

セグメント別の経営成績は、次のとおりです。

#### (グローバルW i F i 事業)

新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大に伴い実施されていた入国制限については、世界的に緩和・全廃の動きが加速しています。

日本においては、2022年3月から観光目的以外の新規入国が一定条件下で再開され、6月から外国人観光客の添乗員付きパッケージツアーの受入れが始まり、9月から添乗員なしパッケージツアーの受入れが再開され、ワクチン接種者に対する陰性証明書提示義務も廃止されました。

その結果、2022年4月以降、出国日本人数、訪日外客数ともに6か月連続で10万人を上回り、出国日本人数は8月に30万人、訪日外客数は9月に20万人に到達しております（出典：日本政府観光局）。

このような環境を背景とした、アウトバウンド、インバウンド、及び国内利用の様々な通信需要に応じてきたことに加え、PCR検査サービスの提供も好調に推移しました。

また、一時的に受託している空港検疫所における日本入国時の検疫手続き関連業務も引き続き対応してまいりました。

これらの取り組みにより、当第3四半期連結累計期間における売上高、セグメント利益はともに前年同期実績を上回っております。

グローバルW i F i 事業	当第3四半期 連結累計期間 (百万円)	前年同期実績 (百万円)	増減 (百万円)	増減率 (%)
売上高	9,918	6,493	3,424	52.7
セグメント利益	2,109	749	1,360	181.6

(情報通信サービス事業)

当第3四半期連結累計期間においては、移動体通信機器とOA機器の販売が好調に推移いたしました。

更に、将来的なアップセルやクロスセル、長期的な解約率の低減、ストック商材による継続的収入といった、ライフタイムバリュー（顧客生涯価値）の最大化を図り、営業コストは一時的に増加するものの、月額制自社サービスの拡販に努めてまいりました。

これらの結果、売上高は前年同期実績を上回りましたが、セグメント利益は前年同期実績を下回りました。

情報通信サービス事業	当第3四半期 連結累計期間 (百万円)	前年同期実績 (百万円)	増減 (百万円)	増減率 (%)
売上高	8,213	6,724	1,489	22.2
セグメント利益	804	1,024	△220	△21.5

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は17,194百万円(前連結会計年度末比2,262百万円増)となりました。

流動資産は、12,414百万円(前連結会計年度末比1,665百万円増)となり、その主な要因は、受取手形及び売掛金が1,567百万円増加したことによるものです。

固定資産は、4,780百万円(前連結会計年度末比597百万円増)となり、その主な要因は、有形固定資産が1,293百万円増加した一方で、投資その他の資産が574百万円減少したことによるものです。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は5,432百万円(前連結会計年度末比622百万円増)となりました。

流動負債は、4,359百万円(前連結会計年度末比479百万円増)となり、その主な要因は、未払法人税等が171百万円増加したことによるものです。

固定負債は、1,072百万円(前連結会計年度末比142百万円増)となり、その主な要因は、長期借入金が143百万円増加したことによるものです。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は11,762百万円(前連結会計年度末比1,640百万円増)となりました。その主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益1,270百万円の計上によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、第3四半期累計期間の実績、足元の状況、来期以降の過去最高益早期達成へ向けた各事業への積極的な投資を踏まえ、2022年8月10日に公表しました通期連結業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日(2022年11月10日)公表しました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

### (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,602,426	7,700,381
受取手形及び売掛金	2,183,816	3,751,572
商品	202,581	174,189
貯蔵品	5,801	5,730
その他	831,510	900,443
貸倒引当金	△77,177	△118,244
流動資産合計	10,748,958	12,414,073
固定資産		
有形固定資産	534,664	1,827,756
無形固定資産		
のれん	1,332,425	1,196,461
その他	150,101	165,152
無形固定資産合計	1,482,527	1,361,613
投資その他の資産		
その他	2,237,519	1,656,495
貸倒引当金	△71,508	△64,948
投資その他の資産合計	2,166,011	1,591,547
固定資産合計	4,183,203	4,780,917
資産合計	14,932,162	17,194,990
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	914,551	964,244
短期借入金	50,000	—
1年内返済予定の長期借入金	89,002	119,433
未払法人税等	179,245	350,894
賞与引当金	306,321	358,509
短期解約返戻引当金	53,504	—
その他	2,287,413	2,566,815
流動負債合計	3,880,038	4,359,897
固定負債		
長期借入金	733,904	877,117
その他	196,004	195,354
固定負債合計	929,908	1,072,471
負債合計	4,809,946	5,432,369
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,387,915	2,522,115
資本剰余金	2,454,031	2,588,231
利益剰余金	7,088,507	8,359,050
自己株式	△1,862,904	△1,862,967
株主資本合計	10,067,549	11,606,429
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,109	△9,098
為替換算調整勘定	40,991	147,697
その他の包括利益累計額合計	46,101	138,598
新株予約権	6,116	11,480
非支配株主持分	2,447	6,112
純資産合計	10,122,215	11,762,620
負債純資産合計	14,932,162	17,194,990

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2021年1月1日 至2021年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2022年1月1日 至2022年9月30日)
売上高	13,392,003	18,478,002
売上原価	6,573,667	9,498,157
売上総利益	6,818,335	8,979,845
販売費及び一般管理費	5,804,960	7,030,041
営業利益	1,013,375	1,949,804
営業外収益		
受取利息	607	1,890
受取配当金	1,500	4,615
為替差益	24,206	—
助成金収入	3,804	6,321
その他	6,397	11,725
営業外収益合計	36,516	24,554
営業外費用		
支払利息	5	7,958
為替差損	—	7,196
その他	7,751	4,974
営業外費用合計	7,756	20,129
経常利益	1,042,134	1,954,228
特別利益		
新株予約権戻入益	14,940	—
固定資産売却益	649	81
投資有価証券売却益	—	1,230
特別利益合計	15,590	1,311
特別損失		
固定資産除却損	2,039	4,563
投資有価証券評価損	17,335	—
本社移転費用	—	9,284
特別損失合計	19,375	13,848
税金等調整前四半期純利益	1,038,349	1,941,691
法人税、住民税及び事業税	138,190	400,909
法人税等調整額	196,469	266,574
法人税等合計	334,659	667,483
四半期純利益	703,690	1,274,208
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,679	3,664
親会社株主に帰属する四半期純利益	702,010	1,270,543

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	703,690	1,274,208
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△8,302	△14,208
繰延ヘッジ損益	721	—
為替換算調整勘定	32,777	106,705
その他の包括利益合計	25,195	92,497
四半期包括利益	728,885	1,366,705
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	727,205	1,363,040
非支配株主に係る四半期包括利益	1,679	3,664

### (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過措置に従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。この結果、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金残高に与える影響はありません。また、当該会計基準の適用が四半期連結財務諸表に及ぼす影響は軽微であります。

収益認識会計基準等を適用したため、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動負債」に表示していた「短期解約返戻引当金」は、第1四半期連結会計期間より「返金負債」を認識する方法に変更しており、「その他」に含めて表示することといたしました。なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過措置に従って、前連結会計年度及び前第3四半期連結累計期間について新たな表示方法により組替えを行っております。さらに、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過措置に従って、前第3四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過措置に従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。これによる、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	グローバル Wi-Fi事業	情報通信 サービス事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	6,493,547	6,723,650	13,217,198	174,805	13,392,003	—	13,392,003
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	478	478	6,915	7,393	△7,393	—
計	6,493,547	6,724,128	13,217,676	181,720	13,399,397	△7,393	13,392,003
セグメント利益又 は損失(△)	749,348	1,024,461	1,773,809	△62,307	1,711,501	△698,126	1,013,375

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、メディア事業、カタログ販売事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△698,126千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	グローバル Wi-Fi事業	情報通信 サービス事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	9,918,084	8,201,877	18,119,962	358,040	18,478,002	—	18,478,002
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	11,684	11,684	4,671	16,356	△16,356	—
計	9,918,084	8,213,561	18,131,646	362,712	18,494,359	△16,356	18,478,002
セグメント利益又 は損失(△)	2,109,823	804,060	2,913,883	△111,976	2,801,906	△852,102	1,949,804

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、グランピング事業、メディア事業、カタログ販売事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△852,102千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。